

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公表番号】特表2006-517581(P2006-517581A)

【公表日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-029

【出願番号】特願2006-502430(P2006-502430)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/216	(2006.01)
A 6 1 K	31/606	(2006.01)
A 6 1 K	31/485	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	5/14	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	5/38	(2006.01)
A 6 1 P	1/08	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	31/216	
A 6 1 K	31/606	
A 6 1 K	31/485	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	5/38	
A 6 1 P	1/08	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 P	25/28	

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物における障害の治療または防止のための医薬組成物であって、ヒト抗IGF-IR抗体を含み、そして当該障害が、多発性骨髄腫、液性腫瘍(liquid tumor)、肝臓癌、胸腺障害、T細胞介在自己免疫疾患、内分泌(endocrinological)障害、虚血、および神経変性障害からなる群より選択される、前記医薬組成物。

【請求項2】

前記液性腫瘍が、急性リンパ性白血病(ALL)および慢性骨髄性(malignant)白血病(CML)からなる群より選択され；前記肝臓癌が、ヘパトーム、肝細胞癌腫、肝内胆管癌、血管肉腫(angiosarcomas)、血管肉腫(hemangiomas)、肝芽腫からなる群より選択され；前記胸腺障害が、胸腺腫および甲状腺炎からなる群より選択され；前記T細胞介在自己免疫疾患が、多発性硬化症、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス(SLE)、グレーブス病、橋本甲状腺炎、重症筋無力症、自己免疫甲状腺炎、ベーチェット病からなる群より選択され；前記内分泌障害が、I型糖尿病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎、副腎皮質機能亢進症、および副腎皮質機能低下症からなる群より選択され；前記虚血が、心虚血後(postcardiac ischemia)であり；そして前記神経変性障害がアルツハイマー病である、請求項1の医薬組成物。

【請求項3】

さらに、コルチコステロイド、制吐剤、癌ワクチン、鎮痛剤、抗血管(anti-vascular)剤、および抗増殖剤からなる群より選択される剤を組み合わせてなる、請求項1の医薬組成物。

【請求項4】

さらにワクチンを組み合わせてなり、ここで前記ワクチンはGM-CSF-DNAおよび細胞に基づくワクチン、樹状細胞ワクチン、組換えウイルスワクチン、熱ショックタンパク質(HSP)ワクチン、同種または自己の腫瘍ワクチンから選択される、請求項1の医薬組成物。

【請求項5】

さらに鎮痛剤を組み合わせてなり、ここで前記剤は、イブプロフェン、ナプロキセン、トリサイリチル酸コリンマグネシウム、またはオキシコドン塩酸から選択される、請求項1の医薬組成物。

【請求項6】

さらに抗血管剤を組み合わせてなり、ここで前記剤は、ベバシズマブ、またはrhUMAb-VEGFからなる群より選択される、請求項1の医薬組成物。

【請求項7】

さらに抗増殖剤を組み合わせてなり、ここで前記剤は、ファルネシル・タンパク質トランスフェラーゼ阻害剤、v3阻害剤、v5阻害剤、p53阻害剤、およびPDGF阻害剤からなる群より選択される、請求項1の医薬組成物。

【請求項8】

IGF-IRに結合する抗体が、以下の特性：

8×10^{-9} 以下のKdの、ヒトIGF-IRに対する結合親和性；

100 nM未満のIC₅₀の、ヒトIGF-IRおよびIGF-1間の結合阻害を有し；そして

VH DP-35、VIV-4/4.35、VH DP-47、またはVH DP-7 1遺伝子のものに対応するヒトFR1、FR2、およびFR3アミノ酸配列、あるいはその保存的置換または体細胞突然変異を含む、重鎖アミノ酸配列を含み、FR配列がCDR1、CDR2、およびCDR3配列に連結され、そして該抗体がまた、その軽鎖中に、A27、A30、またはO12遺伝子由来のCDR領域も含む、請求項1ないし7のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項9】

前記抗体が、2.12.1、2.13.2、2.14.3、4.9.2、4.17.3、および6.1.1からなる群より選択される抗体の、重鎖および軽鎖アミノ酸配列を有する抗体と、IGF-IRとの結合に関して競合する、請求項1ないし7のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項10】

前記抗体が、2.12.1、2.13.2、2.14.3、4.9.2、4.17.3、および6.1.1からなる群より選択される抗体の、CDR-1、CDR-2、およびCDR-3のアミノ酸配列を含む重鎖、並びにCDR-1、CDR-2、およびCDR-3のアミノ酸配列を含む軽鎖を含むか、あるいは保存的変化であって、非極性残基の他の非極性残基による置き換え、極性荷電残基の他の極性非荷電残基による置き換え、極性荷電残基の他の極性荷電残基による置き換え、および構造的に類似の残基による置換からなる群より選択される、前記保存的変化；並びに非保存的置換であって、極性非荷電残基に対する極性荷電残基の置換および極性残基に対する非極性残基の置換からなる群より選択される、前記非保存的置換、付加、並びに欠失からなる群より選択される、前記CDR配列からの変化を有する配列を含む、請求項1ないし7のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項11】

前記抗体が、2.12.1、2.13.2、2.14.3、4.9.2、4.17.3、および6.1.1からなる群より選択される抗体の、CDR-1、CDR-2、およびCDR-3のアミノ酸配列を含む重鎖、並びにCDR1、CDR-2、およびCDR-3のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項1ないし7のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項12】

前記抗体が、ヒト遺伝子DP-47由来の重鎖アミノ酸配列およびヒト遺伝子A30由来の軽鎖アミノ酸配列を含む抗体からなる群より選択される、請求項1ないし7のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項13】

哺乳動物における障害を治療するのに有効な、前記障害の治療または防止のための組成物調製における、ある量のヒト抗IGF-IR抗体の使用であって、前記障害が、多発性骨髄腫、液性腫瘍、肝臓癌、胸腺障害、T細胞介在自己免疫疾患、内分泌障害、虚血、および神経変性障害からなる群より選択される、前記使用。

【請求項14】

哺乳動物における加齢を治療または防止のための医薬組成物であって、抗IGF-IR抗体を含む、前記医薬組成物。